

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 7 7 号
件 名	新型コロナウイルス感染症の広報に関することについて
要 旨	<p>新型コロナウイルスの第6波がなかなか収まらない中、第3回目のワクチン接種、5歳から11歳の子供へのワクチン接種などが行政により強く勧奨されております。その一方で、ワクチン接種は基本的に健康な人に対して行われる医療行為であり、実際に接種をするかどうかについては、各人がメリット、デメリットをよく検討して判断するものです。</p> <p>現在、新潟市ホームページでは、陽性者の性別、年齢層は分かりやすく示されるようになりました。また、新型コロナワクチンの副反応疑い報告書受付件数につきましてもホームページ上に示されるようになり、新潟市が分かりやすい情報の開示に努められていることに感謝しています。</p> <p>しかし、上記は別々のページにあることや、いずれも年代別の死者数、症状程度の内訳が示されておらず、新型コロナ感染症と新型コロナワクチン接種のメリット、デメリットの比較検討のためにはまだ情報が不十分です。</p> <p>新潟県及び新潟市より私が情報提供、情報公開を受けた内容によりますと、令和4年4月20日時点までの新潟県内の新型コロナ感染症検査陽性者の中で20代以下の死者数はゼロであるのに対し、令和4年4月20日に新潟県が公表した時点においてさえ、新型コロナワクチンの副反応疑い報告で死亡と報告された20代は2名となっています。そのうちの1名は新潟市の方です。その報告以降にも、さらに新潟県内で1名の20代の方がワクチン副反応疑いの死亡として報告されています。このことは、新潟市や新潟県のホームページから知ることはできません。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	<p style="text-align: center;">第1項 } 市民厚生常任委員会 } 令和4年6月13日 } 第4項</p>
受 理	令和4年6月2日 第102号

さらに、接種の有無、回数による感染率、重症化や死亡の違いも重要な情報です。また、新型コロナウイルス感染症の死亡として日々取り上げられている人数は、死因にかかわらず新型コロナウイルス検査陽性であった者の人数となっています。つまり、他の原因で亡くなったが、PCR検査をしたら陽性であったという方も含まれています。

日々発表される新型コロナウイルス感染症による死者の中で、実際に新型コロナウイルス感染症を原因としてなくなった方がどれだけいるのかは、接種のメリット、デメリットを考える上で非常に重要な情報です。

新潟市はこれらの情報も市民に提示し、今以上に分かりやすい情報提供をしていただくことを求め、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 新潟市の新型コロナウイルス感染症検査陽性で亡くなった人の年代ごとの人数を、新潟市ホームページや市報等において明示すること。
- 2 新潟市の新型コロナウイルス感染症検査陽性で亡くなった人の中で、直接の死因が新型コロナウイルス感染症であったものの年代ごとの人数または割合を、新潟市ホームページや市報等において明示すること。
- 3 新型コロナウイルス感染症患者のワクチン接種歴ごとの内訳を、一定期間ごとに新潟市ホームページや市報等において明示すること。
- 4 新潟市に報告された新型コロナワクチンの副反応疑い報告のうち、死亡報告の年代別件数を明示すること。